

講座対象者 札幌市民・札幌市内事業所に限る

- ・就労継続支援事業所・視聴覚障害支援機関・グループホーム
- ・地域包括支援センター・多機能型事業所・就労移行支援事業所などの利用者および家族と支援者の皆さん

申し込み方法

お申し込みは1か月前までに電話かFAXでお問い合わせください



申し込み書を提出していただきます



申し込みと問い合わせ先

公益社団法人 札幌消費者協会
消費者被害防止ネットワーク担当者
〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ2階
TEL: 728-8300 FAX: 728-8301
受付時間 午前9時～午後5時15分 *平日のみ

講座要項

受講料…無料 (但し、会場等に要する費用は主催団体負担)
参加者…10名から (要相談)
講師…消費生活推進員
形式…対面もしくはオンライン
講座時間…30分～1時間程度
開催日時…原則・平日日中 (要相談)

講座の内容は
ご相談の上で
構成します



札幌市消費者教育イメージキャラクター
「くろうくま」

職員・支援者向けの研修も行います

障がい者を支援している職員、支援者に対して、消費者トラブルから障がい者を守るために、最新の消費者トラブルの紹介、被害の気づきのポイント、声掛けの仕方、消費者センターの案内方法など障がい、団体向けの講座もおこなっております。

無料 障がい者向け消費者被害防止ネットワークの

ミニ講座を開催しませんか

ネット通販トラブル 詐欺メール? むずかしい 断れなくて 契約・・・しっちゃった

障がい者の
こんな消費者トラブル
増えています!

電気製品などを使用して
ケガをしてしまった…

どっちを
選べばいいの?

ネットで
騙された

講座テーマ①

障がい者 を悪質商法から守るために

講師が市内ご希望の場所にお伺いし、消費者トラブルにあわないための知識と対処法を参加者に合わせ、楽しく分かりやすくお伝えします。

講座テーマ②

製品事故から 身を守る

カルタ ビデオ 紙芝居

替え歌 クイズ 心理テスト



札幌市消費者教育イメージキャラクター
「しろくま」

・札幌市・

障がいのある方の消費者トラブルには次のような特徴があります。

障がいのある方は、なぜ悪質商法にあいやすいの？

- ①判断に必要な情報や手段を探しにくい
- ②「将来への不安」につけ込まれやすい
- ③「孤独感や孤立感」による不安
- ④騙されたことに気づきにくい
- ⑤被害にあっても周囲に相談することが困難
- ⑥お金を計画的に使うことが苦手な傾向
- ⑦障がい者に配慮した環境が整っていない



急速な社会のデジタル化でさらに被害にあいやすく...

デジタル格差 ネット偽広告 契約書面電子化 DX化 キャッシュレス社会

消費者トラブルの未然防止が重要！

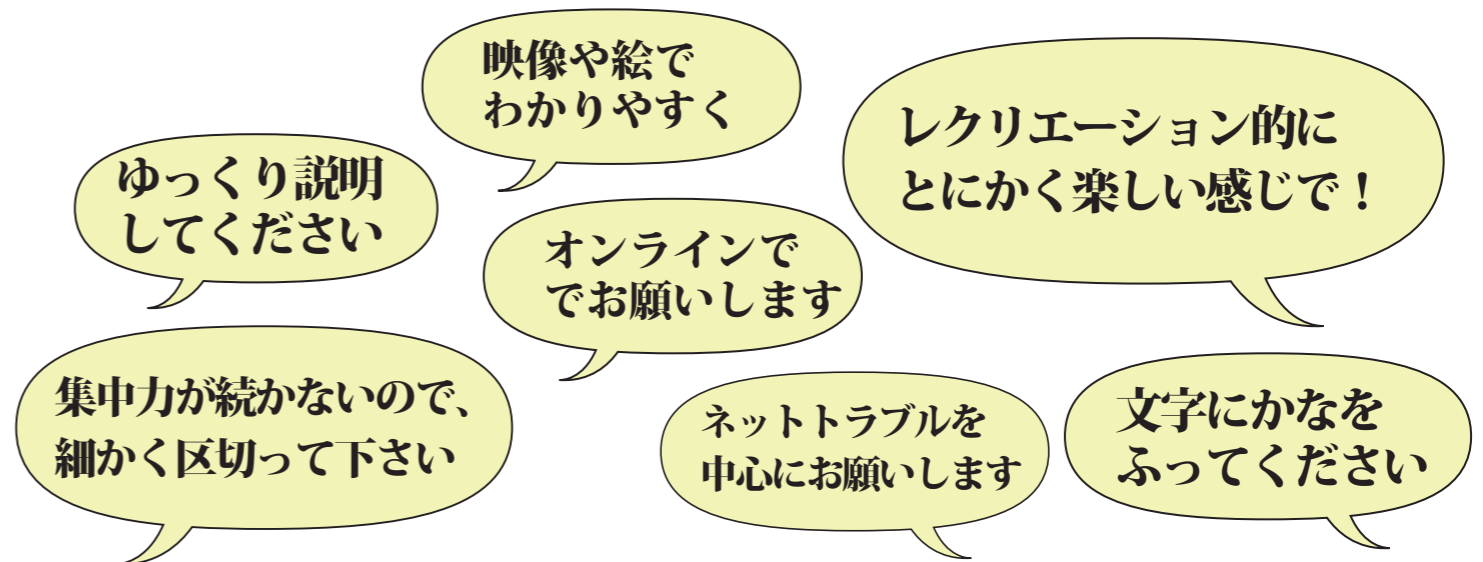
ミニ講座

講師は札幌市の消費生活推進員が務めます

消費生活推進員は地域における安全で快適な消費生活を推進するために消費生活や消費者トラブルの知識を持ち、市民向けに消費者教育・啓発活動を行なっています。



参加者の特徴に合わせ、講座を用意します



ミニ講座・タイムスケジュール例

30分 コース例

- 挨拶
- だまされ度チェック (心理チェック)
- トラブル事例紹介 (デジタル紙芝居 / 動画)
- トラブル回避のポイント
- 断り方復練習
- 消費者センターに相談しよう

60分 コース例

- 挨拶
- 消費者センター紹介
- だまされ度チェック (心理チェック)
- トラブル事例紹介 (紙芝居 / 落語の動画)
- トラブル回避のポイント
- クーリング・オフについて
- 断り方復唱練習
- 消費者トラブル〇×クイズ
- 消費者トラブル防止カルタ
- 消費者センターに相談しよう



障がい者向けミニ講座のご依頼者から頂いた声を紹介します

- 事業所として初めて皆で座って話を聞く試みでしたが、大変ためになる時間で利用者さんからも好評でした。年に一回は勉強した方が良いですね。
- 時代に沿ったいろいろなテーマを期待します。また利用させていただきます。
- 時間を忘れるほど集中できました。受講者も満足されたと思います。ありがとうございました。
- 詐欺などはなくならないので、定期的に学ぶ機会を作りたいと思いました。
- 動画での学び、紙芝居、両方とも参加者の学びになっていて良かったです。
- とてもわかりやすく楽しい講座でした。利用者様も集中して参加している様子でした。デジタル化が進みネット詐欺が増えているので、また受けたいです。